

# 相馬ジャーナル

Souma Journal

December 2023 No.2

僕の夢 私の夢

東奥義塾高等学校二年生  
工藤晃太郎（くどう・こうたろう）さん

将来は青森県で外国語教師になりたい！

三歳から十五歳まで近所の英会話スクールに通っていました。そのころは英語があまり好きではありませんでした。高校生になり、外国人と話すことを通して、英語を学ぶことが楽しくなりました。

高校の修学旅行先のニュージーランドでは、現地の人と日常会話ができることが、自分の英語はネイティブにも通じるという自信になりました。英語という新しいコミュニケーションションツールを得たという手ごたえを感じた瞬間でもあります。

NZで体験した、身体を動かしながら身体を使って言語を学ぶ感覚を伝えるべく、外国語教師になりたいと思っています。英語だけを教えるのではなく、かつて自分が担任の先生から受けた優しさを循環させたいか



ら、教師になりたいと思います。

教員免許は弘前で取得できるけど、一度関東に行きたいです。知らない環境に飛び込んで、新しいことを学びたいですし、自分で生活する力を身に付けたいからです。

大学を卒業したら青森で教員になる予定です。なぜなら、地元が大好きで、どうせ相馬に戻ってくる。そんな予感がしているからです。

（談）

# 相馬に暮らす、相馬で働く面白い人、頑張ってる人、楽しい人を紹介！



紙漉き隊のメンバー。左から大場隊長、成田順子さん、清野洋子さん、田中ゆり子さんと、右端はサポートメンバーの清野美穂さん

紙漉き隊が結成されたのは、平成十四年（二〇〇二）のこと。当時の相馬村教育委員会から引き継ぐ形で大場さんら有志のメンバー四名で「紙漉き隊」を結成した。「たまたま子ども会の役員をしていたので紙漉きに携わることになりました。相馬に生まれ育ちながら地域のことはあまりよく知らなかったんですけど、紙漉きにかかわるようになって歴史などを知ることができて、よかったです」紙漉きは相馬に伝わる伝統技術の一つである。南北朝時代末期に長慶上皇が相馬に潜幸された際、同行した高野山の僧から紙漉きの技術が伝え



**就任から二十一年  
紙漉き隊の頼れるリーダー**  
**大場良子（おおばりょうこ）さん**  
**「楽しかった！」のひと言が  
笑顔の原動力!!**

られたという。紙漉沢の地名はそのことに由来する。「小さな子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に体験できるのが相馬の紙漉きの特徴です。実際、体験されたみなさんが口をそろえて『楽しかった』と言ってくれます。その言葉を聞くのが、一番のやりがいですね」紙漉沢地区の交流センター「紙漉の里」に併設された乾燥機付きの体験施設は県内唯一の紙漉き専用施設で、市内はもとより県内外からも老若男女がやって来る。「専門ではないのでそれほど頻繁にはできないけど、年に十数回は体験会を行っています。伝統ある紙漉きを受け継いでいきたいですし、多くの人に紙漉きの楽しさを知ってもらいたいですね。教えているわたしたちも、いまだに楽しくてしかたないんです（笑）」大場さん率いる紙漉き隊の明るい笑顔は、まだしばらく絶えることはなさそうだ。

## ～掲示板～

### 紙漉沢獅子舞保存会が ワークショップを開催します！

相馬で唯一活動中の紙漉沢獅子舞保存会が、12月の毎週水曜日、午後5時から「紙漉の里」にて獅子舞のワークショップを開催しています。獅子舞に興味のある方なら、年齢性別・居住地を問わず誰でも参加OK。見学だけでも全然大丈夫です。興味のある方は、「紙漉の里」に直接お越しいただくか、質問等のある方は下記・地域おこし協力隊までお問い合わせください。

とき：12月20日（水）、  
27日（水）  
午後5時～午後7時  
場所：交流センター「紙漉の里」  
（紙漉沢字山越）

※動きやすい服装でお越しください。



紙漉沢獅子舞保存会Instagram

#### 【問い合わせ先】

地域おこし協力隊（相馬総合支所総務課）  
電話：090-3102-6110（平日9：00～16：00）

### 「沢田ろうそくまつり2024」が 中止に。ただし参拝は実施で、 参道づくりのボランティアを 大募集します！

2024年2月24日（土）に予定されていた「沢田ろうそくまつり2024」は、諸般の事情によりセレモニーやだいまつ行列などのイベントが中止となりました。ご来場予定だった皆様、ならびに関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。なお、一般参拝（ろうそく奉納）は例年どおり行う予定ですので、参拝をご希望される方はろうそくをお持ちのうえお越しください。

つきましては、参道づくりのボランティア・スタッフを募集いたします。ご協力いただける方は下記までご連絡ください。

●ろうそくまつり実行委員会運営事務局（加賀・穂坂）  
電話：090-3102-6110  
（平日9：00～16：00）

# SOUMA NEWS

相馬で起こったあんなこと、こんなことを一挙掲載!!

## 相馬中学校 合唱フェスティバルが開催!

11月2日(木)、相馬中学校で合唱フェスティバルが開催されました。感染症対策のための自粛を経て久しぶりの本格開催とあって、生徒たちは思う存分歌声を披露。各学年ごとによる自由曲に加え、リコーダーの合奏も行われました。会場には多くの保護者の方々、そして相馬小学校6年生の児童が鑑賞に訪れました。



会場には、相馬小6年生が招待され、先輩たちの合唱・合奏を鑑賞

## 相馬地区文化祭、4年ぶりの 本格開催で大賑わい

中央公民館主催の相馬地区文化祭が、11月25(土)~27日(月)に4年ぶりに本格開催されました。26日(日)には芸能発表、出店も行われ、多くの人でにぎわいました。

ミニ炭俵制作  
(右の写真)や  
バルーンアート、  
紙漉きなどの体  
験に加え、駐車  
場でははしご車、  
煙体験も行われ、  
子どもたちも大  
喜びでした。



沢田のばっちゃんたちも駆けつけ、ミニ炭俵制作を実演



協力隊は三上さん、地域の高校生・中学生のご協力を得て、スタンプラリーと連携した焼き芋店を出店

## 「相馬凸凹学会」が ひろさきりんご収穫祭で 相馬産りんごを販売!



凸凹地形で育ったおいしいりんごーをキャッチフレーズに、11月3日(金・祝)りんご公園で開催された「ひろさきりんご収穫祭」で相馬凸凹学会がりんごの産直店を出店しました。当日は好天に恵まれてたくさんの方が来場。午後2時過ぎには用意したりんごがすべて完売しました。相馬が誇るりんごのすばらしさを地域外の方、さらには地域の若者にも知ってもらおうと相馬在住の高橋や中学生にも協力を要請。相馬と相馬産りんごのよさを多くの方に知っていただき、ご協力いただいた農家の皆さん、ありがとうございました。



出店に協力してくれた小山内玲桜さん(左)と工藤晃太郎さん

## 恒例! 相馬中3年生が 卒業証書用に和紙漉き



「漉き板に原料を入れるのが意外と重くて大変だったけど、満足のいく和紙ができました」とある生徒

12月4日(月)、来春に卒業を控えた相馬中学3年生26人が、自らの卒業証書に使う和紙を、「紙漉の里」で漉きました。紙漉き隊の指導のもと、とくにアクシデントもなく順調に紙漉きを終わりました。

# 地域おこし協力隊 活動通信 9～11月



●十月十九日(金)  
弘前商工会議所青年部の定例会に招かれ、移住者から見た弘前の魅力、相馬の魅力について約二十分ずつ講演をしました(加賀、穂坂)。

●十月十日(火)  
訪弘された南部町の地域おこし協力隊員・渡辺嗣朗さんに相馬を案内しました(加賀)。

●九月二十二日(金)  
相馬小三年生のりんご学習をお手伝いしました。今回はシール貼り体験でした(加賀、穂坂)。

●九月二十一日(木)  
東奥日報が主催する「女子〇(ジヨシマル)ツアー in 相馬」に同行し、トキ収穫体験や紙漉き体験をサポートいたしました。この日は協力隊OBの米山竜一さんも記者として同行しました(加賀、穂坂)。

●十月二十四日(火)  
相馬小三年生と相馬中二年生の合同りんご学習(収穫体験)をお手伝いしました(加賀、穂坂)。



●十一月三日(金・祝)  
りんご公園で催された「ひろさきりんご収穫祭」で相馬産りんごを販売するお店を出店しました(加賀、穂坂)。※詳細は「SOUMA NEWS」にて。

●十一月二十六日(日)  
相馬地区文化祭で焼き芋提供および協力隊活動報告展示を運営しました(加賀、穂坂)。※詳細は「SOUMA NEWS」にて。



「自分」と「人」を大事にしながら精一杯働くことの大切さを伝えたい!  
山内牧 (やまうち・おさむ) さん



今年度、相馬小学校三年生のりんご学習に協力している山内牧さん。長男という立場もあって、東京からのUターンで農家を継ぎました。初めのころは、肥料や農薬のことなど全部チンブンカンブンで、不安が強かったそうです。「農協の青年部に入ってできた仲間と、霜や台風などの災害が起きたときや、平成のりんごが安かった時期に励まし合った。りんごづくりの課題を共有して、さまざまな考え方や着眼点を学び合いもした」  
年に一回しか収穫できないりんご。生産の経験値や知見を深めていくには、仲間の存在が不可欠なことを実感したと言います。  
りんご学習では、つくる体験だけでなく、「辛いこと、大変なこと、なかに学ぶべきことがある」「自分」と「人」を大事にしながら精一杯働くことの大切さを伝えたいと言いました。

1954年、五所生まれ。  
東京で自動車整備士として4年半勤めたのちUターン。りんご農家4代目。好きな品種は「ふじ」。  
趣味は農機具などの機械いじり。

相馬地区広報誌  
相馬ジャーナル

December 2023 No.2

◆発行者  
相馬地区地域おこし協力隊  
〒036-1592

青森県弘前市大字五所字野沢41番地1 (弘前市相馬庁舎)  
電話: 090-3102-6110 (地域おこし協力隊)  
0172-84-2111 (代表)

e-mail: [souma.chiikiokosi@gmail.com](mailto:souma.chiikiokosi@gmail.com) (地域おこし協力隊)

◆編集  
相馬地区地域おこし協力隊 (加賀新一郎、穂坂修基)

◆発行日  
2023年12月11日

※表紙写真提供: 米山竜一

## 大募集!

皆様のご意見、ご要望、取り上げてほしい人やイベント、告知したいことなどを大募集しています。左記、協力隊直通電話かメールアドレスまでご連絡ください。



弘前市相馬地区  
公式WEBサイト



穂坂隊員  
Instagram



加賀隊員  
Instagram